



並木中等story

令和3年11月16日号

気持ちを理解するのは難しい

“また、怒らせてしまいました” きっと、この人はこのように考えているのだろうととらえ、「今は、このような気持ちなんですね。」と返答したら、「先生は何も分かっていない。私の気持ちを分かったつもりにならないでください。」と言われてしまいました。勝手な思い込みで判断し、伝えたのが失敗でした。人の心を100%理解するのは無理だと思います。話を聴きながら、「このように受け取ったけれど、いいのかな。」と対話をしながら相手を理解するのが大切と言われています。ここで、注意です。聴き手が「こうでしょう！」と決めつけてしまうと、「違う。分かってない。」ということになりやすいのです。その時さらに、「こうすべきだ。」とアドバイスをして、それはもう話をしてい人には聞いてもらえないと思います。



人の気持ちを理解するのは難しいのです。かつて、恩師にアドバイスを受けました。「話し手の言葉で聴きなさい。」というものでした。その時、私はAさんが「うまい。」と言ったことを「上手だったんだね。」と別の言葉で受けてしまいました。その後、Aさんは「うまいんだよ。」と言い返したのでした。Aさんにとって、“うまい”と“上手”は違ったのです。気持ちを理解したつもりになっていると誤解しやすいようです。

《祝！税に関する作文で入賞》

土浦税務署が主催する「税に関する作文」の審査で、4年次の仲柴さんの作品「税金は罰金？」が土浦税務署長賞を、同じく4年次の上田さんの作品「重荷と軽荷～私達と密接する税～」がつくば市長賞をそれぞれ受賞しました。

おめでとうございます。